

在宅援助論で吸引演習をしました（2022.12）

2022年12月16日

4年生の在宅援助論で看護学専攻の中西泰弘先生、石井豊恵先生、菅彩香先生、福重春菜先生に吸引演習の指導をしていただきました。吸引は気道・気管内にカテーテル（細い管）を挿入し、分泌物を吸い出して除去することで、呼吸困難感をやわらげ、肺でのガス交換をしやすくするために行うケアです。医療の現場では吸引を必要とするひとが多くいるために、平成30年に規則が改正され、作業療法士のコースでも学ぶことになりました。

吸引演習では1グループ4、5人で、モデルを使って吸引を体験しました。近年、在宅で働くOTも増え、吸引を使う場面も多いということで、熱心に練習をしていました。

